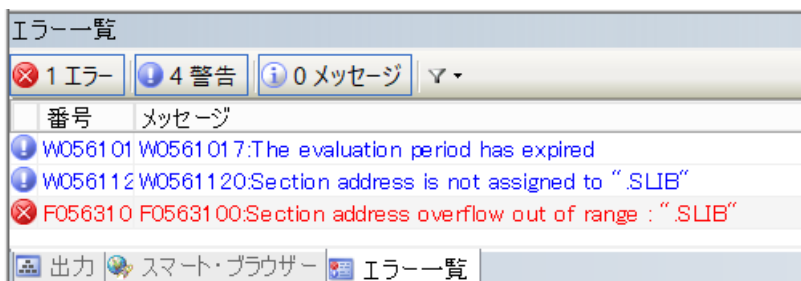


ROM容量の少ないマイコンで `sprintf ()` 関数を使用すると、



プログラムがROMに収まり切れなくてアドレスオーバーフローが発生します。

弊社のマイコン基板ではRL78_1176 (ROM容量 16 Kバイト) 以下のマイコンは事実上、`sprintf ()` 関数は使用できない感じです。

調べてみるとコンパイラには `sprint_tiny` という関数も用意されているようですが、今回は以前弊社が作った16進数を10進数に変換する `hexbcd ()` 関数等を使用して、ROM容量の小さいマイコン、弊社の基板ではRL78_10Y17 (4 Kバイト) が最小ですが、A/D変換の値をbcdコード、asciiコードに変換し、液晶表示板 AQM1602XAに10進数の電圧値で表示するプログラムをROM容量内に納めることが出来ました。

有限会社ビーリバーエレクトロニクス

埼玉県日高市高萩 1141-1

<http://beriver.co.jp>

info@beriver.co.jp